



# 江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより  
令和5年4月28日発行  
通算第545号

## ポコ ア ポコ (Poco a Poco)

校長 笹川 力

季節は確実に移ろい穀雨から立夏へと向かっています。恵みの雨をたっぷり大地が吸い込み、いよいよ夏が始まります。「目に青葉 山ほととぎす 初がつお」という俳句がありますが、まさに五感が満たされる豊かな季節です。学校では5月20日（土）の運動会に向けて、練習が本格化します。子どもたちが充足感を得られる行事になるよう、励まし、支えていきたいと思ひます。



さて、新型コロナウイルス感染症対策も新たな局面を迎えつつあります。マスク禍とも言える状況も改善されそうです。マスクによる悪影響として、二酸化炭素多め、酸素少なめの空気を吸い続けることによるさまざまな健康被害が指摘されています。しかし、最も大きい悪影響はコミュニケーションの障害だと思ひます。相手の口元（ほほ・鼻）から表情を読み取れない。その一方で自身もマスクで相手に壁を作って安心できる。そういった声が多く聞こえてきます。

学校は人と人が健全な人間関係を築くことでより一層教育効果を高めることができます。3年以上も続いたマスクの着用です。諸事情により今後もマスクの着用を続けざるを得ない人のことを認めつつ、自分の心のバリアのためのマスクについては外せるように声かけをしていきます。何より、子どもたちにはマスク状態が「異常」なのだという理解してほしいと思ひます。



新型コロナウイルス感染症の中、知恵を出し合い検討を重ねて学校生活や行事を進めてきました。その話合いが、絶対に欠かすことのできない行事や単なる慣習的に行ってきた行事など、根本的な部分を見直すきっかけになったのも事実です。

感染症対策が新たな局面を迎えるにあたって、すぐに以前の教育活動に戻すのではなく、コロナ禍で苦勞した経験を活かしていきたいと考えています。教育効果、時間、児童の負担など多面的に見直し、ゆっくり、じっくり、あせらずに、本来の学校の姿を取り戻していきたいと思ひます。

※ポコアポコ (Poco a Poco) = 音楽の速度標語。「少しずつ」「徐々に」の意味。